京都ＳＤＧｓパートナー更新登録証

日本たばこ産業株式会社 京都支社は、

ＳＤＧｓ、CO_2ゼロに

取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

たばこ事業のサステナビリティ戦略として、４つの注力分野（お客様の期待を上回る製品サービスの提供・人材への投資・持続可能なサプライチェーンの構築・事業を取り巻く規制への適切な対応と不法取引の防止）を設定（関連するＳＤＧｓのGoalも明記）。京都支社では地域課題に合わせて上記方針に沿った活動を実施する。

●ＳＤＧｓに関する重点的な取組●

【経済】たばこ事業全体において、労働災害ゼロを目指し、労働災害件数を２０３０年までに５０％削減する（基準年：２０１５年）。京都支社では、交通災害・業務災害・職場ストレス状況の低減等の６項目において目標値を設定・活動し、「SDGｓ８：働きがいも経済成長も」に貢献する。

【社会】リスク低減製品を開発・投入し、的確で十分な情報提供を行う。
京都支社でも率先してリスク低減製品においてお客様に幅広い選択肢を提供し「SDGｓ３：すべての人に健康と福祉を」に貢献する。また、パートナーシップで地域社会の課題解決に取り組むRethink Projectを通じ、地域に根差した取り組みを行う

【環境】たばこ事業全体で、2030年までに、事業活動由来の水使用量を2019年比３３％、2030年までに、工場廃棄物の埋立地への廃棄をゼロにする。京都支社でも廃棄物量の目標を設定し、「SDGｓ１２：つくる責任　つかう責任」に貢献する。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

～『ひろう』という体験を通じて、『すてない』気持ちを育てたい。もっともっとすてない人を増やしたい。～という願いから生まれた、自治体、学校、ボランティア、各催事の実行委員会や協働団体など、さまざまな人たちとゴミをひろう一般参加型の清掃活動イベントを定期的に実施する。

※ 記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号　00035

更新日　2024年6月30日

日本たばこ産業株式会社
京都支社

京都超SDGsコンソーシアム　京都市 CITY OF KYOTO

京都ＳＤＧｓパートナー制度は、オール京都でＳＤＧｓを推進する「きょうとＳＤＧｓネットワーク」を構成する制度の１つです。ＳＤＧｓの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超ＳＤＧｓコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。